

牛舎内の防寒対策について

12月に入り、積雪、冷たい強風が増える季節になりました。一時的な体温低下により、ダメージを受け、子牛のみならず成牛の風邪や下痢が起こりやすくなります。

寒冷期を健康に乗り切るため、防寒対策について今一度ご確認をお願いします。

防寒対策の3大ポイント

◆やはり保温が大事！

外気温が13℃以下になると発育と免疫力の低下がみられます。底冷え防止にお風呂マット、湯たんぽ、カーフジャケット、赤外線ヒーターなどの使用、隙間風を防止するなどの対策が効果的です。

◆飲水温も大事！

飲水温が5℃以下になると成牛も子牛も飲水量が減少します。消化管運動が低下し、乾草の摂食量も減少します。飲水タンクにヒーター等を入れて防止することもできます。

◆清潔な環境が大事！

牛床が糞や尿で湿っていると、子牛の体温低下や病原細菌の温床にもなります。清潔で乾燥した敷料をたくさん使用することで、保温効果もアップ！汚れたら早めの交換を。

◆換気が大事！

閉めきったままの牛舎では、ほこりやアンモニアだけでなく細菌が増殖して呼吸器病の原因に！子牛に直接風が当たらないように注意して、日中は牛舎内を適時換気！

◆野生動物侵入防止も大事！

寒冷期には牛舎に野生動物が来る機会が増加することから病原体を持ち込まれないよう侵入防止しましょう。

朝夕の健康観察がとっても重要。おやっ?と思ったらすぐ検温を！

赤外線ヒーター



カーフジャケット